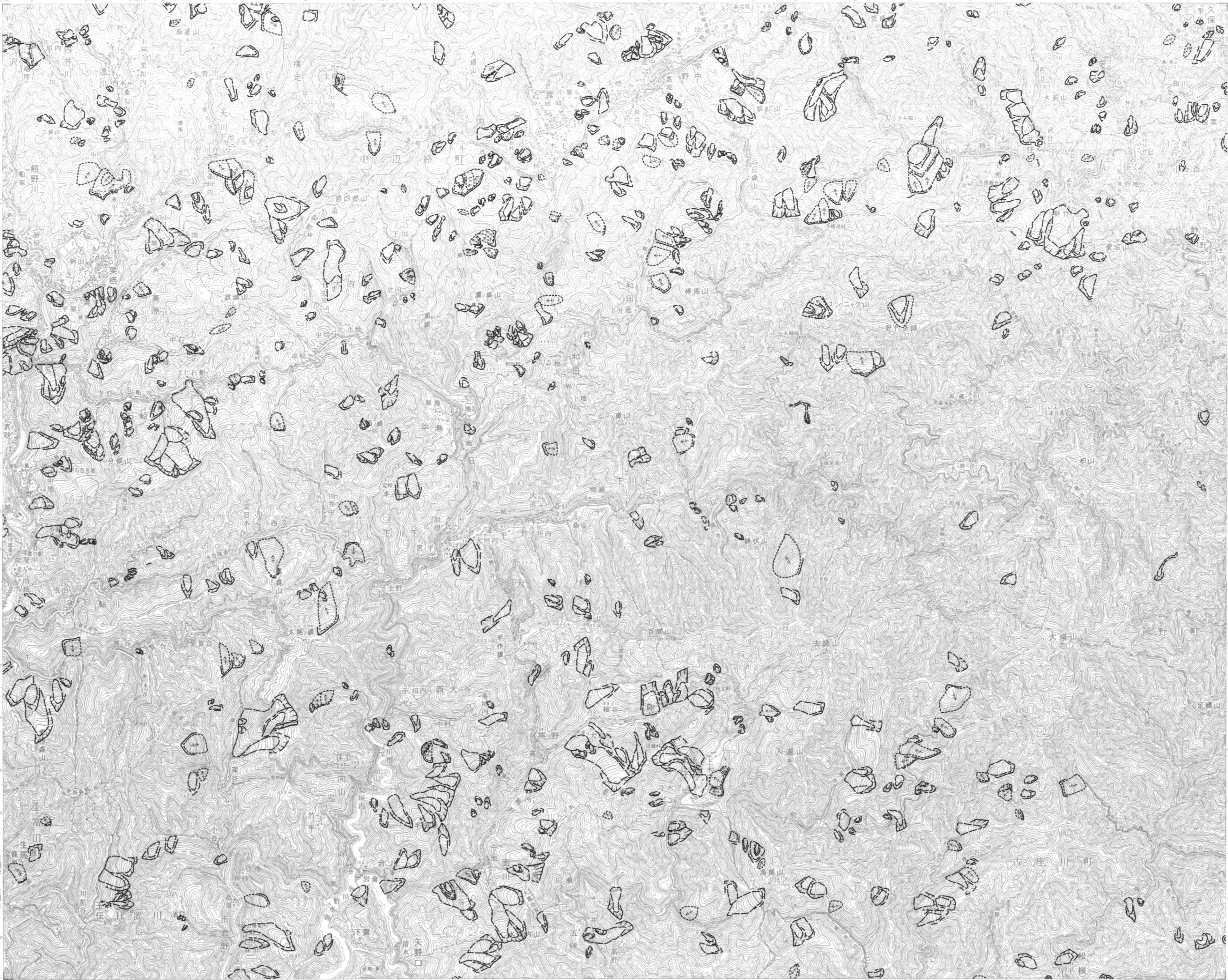


1:50,000 地形図 NI-53-16-6
くりすがわ (田辺6号)

地すべり地形分布図 栗 栖 川

Landslide Map of KURISUGAWA



凡 例

輪郭構造

滑落崖と側方崖

新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖

部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖

冠頂が著しく開析された滑落崖

冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖

開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置

共通の冠頂をもち、互いに反対方向に向く滑落崖

中・緩斜の流れ盤すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面。冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。

後方崖、多重後縁等

移動体の輪郭・境界

後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明確ないし判定可能

後方の滑落崖は明確であるが、移動体の輪郭の判定が困難

滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部（不安定土塊）が残存している

ほかの移動体や堆積物におおわれた部分

斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域、移動域と推定される範囲

斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘

脚部線・剛制域下限

内部構造

二次・小滑落崖、崖線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす

サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭

移動体内の小尾根

幅の広い溝状凹地、亀裂

幅の狭い溝状凹地、亀裂

雁行亀裂

線状窪地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向

池

水のない窪地

断陸地の前縁

移動方向等

移動体の主移動方向

すべり

クリープ（爬行）

流れ・押し出し

落石など

前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向

元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他

運急線

活断層（地すべりを変位させている顕著な断層）

地層面等および節理・断製の走向・傾斜

行政区画

索引図

和歌山県

1. 西牟婁郡 2. 東牟婁郡

川原河 龍 神 十津川

田 辺 新 宮

周 参 見 江 住 那智勝浦

()内は所属20万分1地勢図名

1:50,000 栗 栖 川

調査者 清水文健・井口 隆・大八木規夫

by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI

LM-456

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院 許可なく複製を禁ずる発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平17総機、第285号)」